HSK

石川県肢体不自由児協会 石川県肢体不自由児・者父母の会連合会 平成28年1月8日発行 第 25 号

~<u>~</u>

ボッチャ









晴天の11月1日(日)金沢駅西にある金沢市障害者高齢者体育館(むつみ体育館)で55名が参加して 開催されました。今年度担当の金沢地区高松支部長の計らいでスポーツ競技だけでなくマジックショ ーも盛り込まれ、楽しいひと時を過ごしました。

- ・ 協力団体・・・県ボッチャ協会、県障害者スポーツ協会指導者協議会
- ・ 参加内容・・・ボッチャ競技、卓球バレー、マジックショー

当日はボランティアとして星稜大学の教授や学生さん 10 名のお手伝いをいただき、県社会福祉協 議会の紹介による岡山県からの学習塾指導者5名(金沢見学の後)の特別参加もあり、若さがあふれた 雰囲気で、子ども達も生き生きとして交流をしていました。

競技は参加者全員が6人位で時間制によるグループ対抗の形で行われました。新競技の卓球バレー は正に6人の協力が必要で和気あいあいのなか、慣れるに従い強力打ち出しの連続でした。またマジ ックショーでは、新聞からワインボトルが飛び出すなど驚きのマジックに拍手の連続でした。 遠方輪島から参加のT家族さんもご苦労様でした。



PART2 各支部より ~

金沢 「力を合わせて防災・減災・避難にむけて」の取り組み

金沢地区では以前より取り組んでいた防災関係について、今年度も継続してより進めることにしま した。

- ・6月18日 「考えよう一防災・減災・避難について」市教育プラザ富樫 ①防災マップづくりへの取り組み状況 ②過去の能登沖地震や浅野川氾濫時の体験談や他の 障害団体の取り組み状況 ③医療機関との模擬避難訓練体験発表 ④市主催の地区避難訓練 体験談 ⑤東京都の「HELPカード」YouTube での視聴 ⑥非常食試食
- 「防災・減災・避難について」講演会
 - ①市危機管理課・・防災計画、ハザードマップ、避難訓練や災害時対応等
 - ②市障害福祉課・・障害者の実態把握状況とその避難、福祉避難所等
 - 1次避難と2次避難への問題や、地域以外にいる時(学校、作業所やその行き帰り)、
 - 高齢保護者の場合の問題等、その他数多くの意見や質問が出ました









かほく サマーフェスタ N かほく 出店





かほく市父母の会「からーず」は、8月1日のかほく市のお祭り【サ マーフェスタ IN かほく】に出店しました。じゃんけんゲームやく じ引きにたくさんの人が来てくれましたが、今年が2度目とあって スムーズに運営できました。景品の発注、レイアウト、ブースの飾 り付けなど事前準備は保護者が行いましたが、接客は子供達に任せ ました。地域の人達に私たちの活動を知ってもらい、理解してもら うことが目的ですが、子供達にとっても大いにプラスになっている ようです。初対面の人に対して最初は「いらっしゃいませ!」と言 うことができなかった子も、時間が経つと店頭に立って呼び込みが できるようになりました。また、お金のやり取りにも責任を持ち、 最後はお客さんに「ありがとう」と言われ、充実感を味わうことも できたようです。毎年参加していくことで、もっとたくさんの人に 私達のことを知ってもらい、また少しでも地域に貢献できたらいい なと思っています

河北郡市 親子パン作り体験





10月31日土曜日、ライフクリエートかほくにて、かほく市・内灘町・津幡町の3市町合同のさわやかレクリエーションがありました。今年度は親子パン作り体験が開催されました。私たち津幡町「ラフ」からは5組の親子がお揃いのTシャツを着て参加しました。

当日は雨にもかかわらず総勢 33 名が集い、終始賑やかな雰囲気でした。パン作りはライフクリエートかほく職員の指導のもと、パン生地を伸ばしてコルネや可愛い動物の形に成形したりして、みんなで楽しく作ることができました。どんなふうに焼きあがるのか心配でしたが想像以上の出来映えで、とても美味しかったです。また、パンが焼きあがるまでの間は開運のこつを聞いて盛り上がり、その後は美味しいランチをみんなで楽しみました。

親子で参加するイベントということで、お互いより親睦を深められました。

| 内漢町| 「福祉教育講座〜富山型デイサービスを学ぼう!!」に参加して | 内灘町社会福祉協議会 CSW 藤田 徹

平成27年11月15日(日)、内灘町役場で行われた「福祉教育講座~富山型デイサービスを学ぼう!!」に参加しました。

この講座は、河北郡市の3団体『内灘町肢体不自由児・者父母の会、津幡町肢体不自由児・者父母の会「ラフ」、かほく市肢体不自由児・者父母の会「からーず」』が主催となり、開催されました。このこと自体、大変意義があることだと思います。

金髪魔女!?でおなじみのNPO法人「ふらっと」代表宮袋季美さんのお話では、「障がいがあるから、夜に飲みに行けない…」、「障がいがあるから、給料が安い…」、「障がいのある人のお母さんは、我慢しないといけない…」との言葉には、当事者の母親として深く感じるものがあり、その通りだと思いながらも、そのことに対して何も言い返すことができない福祉関係者の自分がいました。

富山型デイサービスは、障がいのあるなしに関わらず、お互いがお互いのことを分かろうとする、また、許し合うことがなくなりつつあるこの時代に、一石を投じているように思いました。

この講座が、障がいのある人が地域で当たり前に生活していくことへの一つのきっかけとなることを 願うと共に、自分自身が少しでも、この機会を活かすことができるよう頑張りたいと思います。









第48回全国大会(香川県高松市)

9/12~13 に香川県開催の第48回肢体不自由児父母の会全国大会に参加させていただきました。 シンポジウム「医療的ケアの必要な重度障害児者への支援」では医療ケアの必要な子達が他の子と 同じように通学する為の現在の課題や今後について、特別支援学校教諭・社会福祉法人理事長・医 療センター看護師・保護者が其々の立場から見てどう感じ考えるかというものでした。学校や施設 の設備人員の不備により他の子のように通えない場合や保護者が個人負担せざるをえないケースも あるとの事。自身の学校でも事例が違いますが同じ行先の学校行事の自己負担金が部門で違った事 が腑に落ちない気持ちだったのを思い出し平等と公正について考えさせられました。







記念講演「障害児者の二次障害を防止して残存機能を最大限に発揮するためのシーティング」で は肢体不自由児は出生時の背骨はまっすぐなのに成長と共に歪みそこから内臓疾患や他の二次障 害になる場合が多いがそれは「しょうがない」ことなのだろうか?事故による脊髄損傷で下半身麻 **庫を持つ方自身の経験を踏まえた姿勢保持や車椅子の選び方・座り方などで二次障害になることな** くよい姿勢が保ち、できることを増やす可能性についてというものでした。この講演は車椅子を使 う子の親として本当に聴講できて良かったです。

健常者でも悪い姿勢を取り続ければ身体が歪むのに、自分 で姿勢を直せない子達は周囲が何もしなければ歪む可能性 は高い。逆にそれに配慮・対応できれば防止できる可能性が あることを気づかされました。今からでもできることは始め たいと思い、帰ってから早速講師の先生の著書を入手しまし た。

学校では先生方が回覧して読んで下さり、普段の生活にど う取り入れるかを今話し合っています。他に興味のある保護 者の方にも閲覧できるようにしてもらう予定です。本当に実 りある全国大会に参加させていただき大きな収穫となりま した。ありがとうございました。



(百津 秀代)







東海北陸肢体不自由児者父母の会福井大会 (結成 5 0 周年記念大会)







10月3・4日(土・日)標記の大会が福井県坂井市の三国観光ホテルを会場に開催されました。本県からは18名(宿泊11・日帰り7)の参加で大会は210名による盛大な会となりました。

講演では安泰寺住職、佐々木憲乗氏による「心のおふせ」サラリーマンから、両親の急な事故による他界で、住職となってからの苦労話や、生きていく上で七布施(①眼施―やさしい眼、②和顔施―にこやかさ、③言辞施、④身施、⑤心施、⑥壯座施―自分のすべてを次にゆずって、⑦房舎施―もてなし)の例えを挙げてのお話でした。最後に「帰る時は、来たときよりも美しく」と話され、より心を込めての対処を、という感じで、大変心洗われる講話でした。

続いては高田稔浩氏による「パラリンピックへの挑戦」の講演で、氏は5歳の時の病気で歩行支障となり松葉杖使用の生活の中、友達といても「どうせなにをしても負ける」という気持ちが大学まで続いたそうです。しかし幼少からの祖母の「もっと我を出せ、負けん気を」という言葉とともに育ち、市役所に入って車いすでの生活を強いられていた時、障害者のスポーツを知りました。

今感じていることとして①障害によってスポーツ種の向き不向きがある②経済的基盤があることでスポーツを続けられる③自分が頑張っている姿がまわりの支援者への感謝につながる④自発的行動で今後の生活に拡がりが生まれる。等々の話ですばらしい講演でした。

福井大会の参加を通して福井の良さ=温かなもてなしであり、本人部会の人たちの挨拶や頑張りが親御さん達と共にあることを感じました。また福井大生による熱心なボランティア活動など、すばらしく心ゆさぶられる大会でした。







平成27年度 「地域指導者育成セミナー」に参加して

1日目の公演では、障がい者福祉の歴史や制度、合理的配慮(障がいのある人への心づかい)を しないと差別になるということや、相談支援においてその人にできないことや短所を改善しようと する事よりも、長所に注目してワクワクするプランを作って自立に繋げるというストリングスモデ ル等についてわかりやすくお話いただきました。

その後のグループ討議では、相談支援の各県の実情や課題などたくさんの意見が出されました。



2日目は、65歳問題をテーマに話し合われ、各自治体によって国から の通達に対する受け取り方の違いがあるということに驚きました。

障害年金、医療的ケア、親亡き後の事など沢山の課題がある中親としてどうしていけば良いか、言わなければ何も変わらない、声を出していかなければいけないと思いました。 個人としては出来ない事も団体として地域や県、国に働きかけて行く事が大切で、肢体不自由児協会の必要性を今一度強く感じました。

今回このセミナーに参加させて頂き、先輩たちの声を聞くことができて とても勉強になりました。

 $(\mathbf{Y} \cdot \mathbf{U})$



「福祉用具コレクション 2 0 1 6」のご案内 2 0 1 6. 1. 4 (月) ~1. 3 1 (日) 金沢福祉用具情報プラザ



上記の日程にて最新の福祉用具140点を展示いたします。 会期終了後は試用貸出しが可能になります。 この機会にぜひご来館ください。







※商品説明のため、ポロシャツの一部を半透明にしています

「バザーへのご協力」お礼

- 9月6日(日) 「福祉のつどい2015金沢」(松ヶ枝福祉館・同緑地) 当日はあいにくの雨でしたが、多くの方のご協力に感謝申し上げます。
- 10月11日(日) 「石川県障害者フェスティバル」(産業展示館4号館) 3連休と他の催しとの関係で、例年より来館者は多少減少状況でした。

2つのバザーに例年提供品をいただき誠にありがとうございました。 両方条件的には良い状況で無かったですが、収益は前年より多少増でした。

《ご協力の皆様に重ねてお礼を申し上げます》

「いしかわ支え合い駐車場制度」について (再案内)

10月に会員の皆様にお知らせしましたように、11月2日より本県でも障害者等の方々に対する新たな駐車場制度が始まっています。

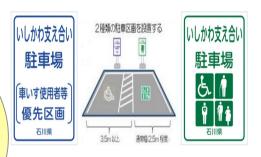
会員の方でもう申請して、新たな利用証を頂いた方もいます。

歩行が困難な方が対象で、妊産婦(期限付き)やけが人(同)など新たに交付可能になっています。県内各市町で申請を受けています。また表示されている対象の駐車場も申請窓口で聞くことができます。





私も申請してきました。 表裏両面の申請用紙に住所・ 氏名などを記入して、後は障 害等の状況を該当する項目に 「✓」する簡単な申請用紙でし た。時間もかからず、すぐに 駐車場利用証を貰うことがで きました。 (K.K)



ぜひお近くの役所でお聞き願います。

障害のある方の

衣服のリフォームをお手伝いします

「昨日まで着ていた洋服が上手く着られない・・ 「お気に入りの洋服を着て出かけたい・・・」

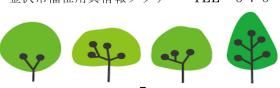


〈生活をしていく上で洋服を着るという行為は不可欠です〉

「どうしたら上手に着られるんだろう?」 「こうなれば自分で着られるかもしれない!」と、思ったら・・・

〈まずはお電話くださいい〉 〈一緒に考え、希望に添うようお手伝いをさせていただきます〉

金沢市福祉用具情報プラザ TEL 076-234-9900



8月

お知らせコーナ

□新成人を祝う会□

日時 平成28年1月17日(日) 会場 石川県社会福祉会館 対象者 平成7年4月2日~平成8年4月1日生まれの方 会員以外の方でも卒業が同学年の方は申し込み願います(参加費当日支払い)

□2月研修会□

平成28年2月中旬~下旬を予定(会場未定) 日時 内容 障害者虐待防止法の理解 (予定) (平成24年10月施行)



□愛の絵はがき・一筆箋□

例年のように標記の頒布活動を行っています。 今年度もご協力いただける方は事務局までご連絡を願います。

□28年度全国大会□

(神奈川県大会7月末)

「住み慣れた地域で共生社会の実現」 新たに3分科会で □医療 □生活支援 □教育 多くの皆さんのご参加を願います。



□ご寄付いただいた方々□

(5月~11月) 50音順

小林 富彦様、中垣 明日香様、林 和子様、藤 純慧様、蓑地 純子様 (株) 全国通信販売様

~ご寄付ありがとうございました~

編集後記

ステップ25号も皆様のご協力のもと、内容も盛 りだくさんに完成いたしました。

各種行事参加や原稿依頼を快くお引き受けいただ きましてありがとうございました。

今年は暖冬だと言われ今のところ過ごしやすい日 が続いておりますが、寒い日との寒暖差が激しく体 調管理に気をつけなければいけませんね。どうぞ元 気に年末年始を過ごされますようお祈り申し上げま す。

作成スタッフ一同

** お問い合わせ・ご連絡 ** お気軽にお電話ください。

編集人: 石川県肢体不自由児協会

石川県肢体不自由児者父母の会連合会

連絡先: 〒920-8557 (事務局)

金沢市本多町 3-1-10 石川県社会福祉会館内

電話·FAX 076-224-6126

Eメール ishikawakenshiren@movie.ocn.ne.jp

発行人:北陸障害者定期刊行物協会

富山市今泉 312 定価 50円